

- (1)「ペイシエントハラスメントに対する対策 ～ペイシエントハラスメント 患者・家族との向き合い方～」
福崎博孝(弁護士法人ふくごぎ法律事務所代表
弁護士)
- (2)「ペイシエントハラスメントと応召義務～正当事由はどこまで認められるか～」
大磯 義一郎(浜松医科大学医学部総合人間法学
教授)
- (3)「患者相談の現状」
栗原 慎太郎(長崎大学病院安全管理部長)
- (4)「ペイシエントハラスメント対応ー医療対話推進者の立場からー」
奥津啓子(武蔵野赤十字病院医療安全推進センター
患者相談室看護師長)

6月22日(土) 8:00～10:00 F会場

11. 医療事故の少ない職場環境づくり～心理的安全性の観点から～

座長：中根 博(国立病院機構福岡東医療センター
院長)

相馬孝博(千葉大学医学部附属病院医療安全管理部特任教授)

- (1)「医療安全の多様な概念と心理的安全性の立体構造」
辰巳陽一(近畿大学病院安全管理センター
医療安全対策部)
- (2)「心理的安全性を支援するヒント」
高橋静子(医療法人鉄蕉会亀田総合病院医療安全管理室セーフティマネージャー)
- (3)「インシデント報告を通じた心理的安全性の醸成」
中島 勲(虎の門病院病院長補佐)
- (4)「心理的安全性と病院のチーミング」
山口(中上)悦子(大阪公立大学医学部附属病院
医療の質・安全管理部病院教授/部長)
- (5)「安心して働ける職場を目指して」
香崎 智恵美(国立病院機構福岡東医療センター
医療安全管理係長)

6月22日(土) 8:00～10:00 G会場

12. 進みつつあるクリティカルパスの標準化とその可能性～AMED「ePath事業」の展開～

座長：中島直樹(九州大学大学院医学研究院医療
情報学講座教授)

羽藤慎二(国立病院機構四国がんセンター
院長補佐(兼)患者・家族総合支援センター部長)

- (1)基調講演
「医療情報の標準化がもたらす医療の標準化」
中島直樹(九州大学大学院医学研究院医療情報学
講座教授)
- (2)「標準化クリティカルパス「ePath」を知ろう！
仕組みから解析まで」
若田好史(国立病院機構九州医療センター医療情報
システム管理部長)
- (3)「クリティカルパス活用による看護師の働き方
改革」
村岡修子(NTT東日本関東病院副看護部長)
- (4)「ePathを基盤とした電子ワークシート(eWS)へ
の発展」
松木絵里(慶應義塾大学医学部血液内科専任講師)
- (5)「ePathが生み出すデジタルトランスフォーメー
ション」
山下貴範(九州大学病院メディカル・インフォ
メーションセンター講師)

6月22日(土) 10:10～12:10 B会場

13. 「治し、支える医療」を極める！ー患者中心の在宅療養支援ー

座長：田中二郎(株式会社麻生飯塚病院名誉院長/
医療法人川崎病院理事長)

武藤正樹(社会福祉法人日本医療伝道会
衣笠病院グループ理事/よこすか地域包括ケ
ア推進センター長)

- (1)「みんなで挑む在宅医療介護連携の大変革～地域
の実情に応じた圏域を設定した連携推進～」
小栗和美(飯塚病院地域包括ケア推進本部/飯塚
医師会地域包括ケア推進センターマネージャー)
- (2)「笑顔の支え方」
横林賢一(医療法人ほーむけあ ほーむけあ
クリニック院長)
- (3)「コミュニティホスピタルが支える在宅療養支援」
本田宜久(医療法人博愛会額田病院院長)
- (4)「2次救急病院が取り組む在宅医療」
松田守弘(医療法人川崎病院内科統括部長/
総合診療科部長)
- (5)「患者・家族が求めている在宅療養とはー急性期
病院の立場からー」
加藤智子(聖隷浜松病院看護部家族支援専門
看護師看護課長)